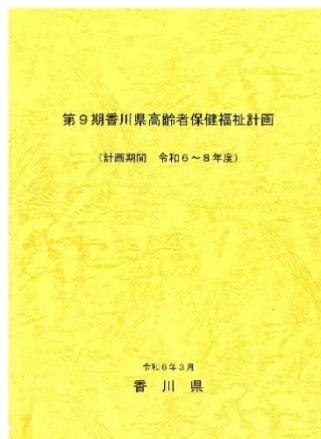


## 第9期香川県高齢者保健福祉計画 (計画期間 令和6～8年度)



### 住み慣れた地域で、健康でいきいきと働き、安心して暮らす香川の実現を目指して

香川県の人口に占める高齢者の割合は、全国平均を上回って推移しており、令和元(2019)年には3割を超え、団塊世代の全ての方々が75歳以上となる令和7(2025)年には、3人に1人が高齢者になると推計されています。

また、団塊ジュニア世代の方々が65歳以上となる令和22(2040)年頃まで、高齢者人口は30万人前後で推移するものの、介護・医療の複合的なニーズを有する85歳以上人口の急速な増加や認知症高齢者の増加が見込まれ、介護サービス需要の増加・多様化が想定される一方、生産年齢人口については減少が見込まれています。そうした中で、自立した日常生活に向けた支援や介護予防・重度化防止、認知症施策の推進、中長期的な見通しに基づいた介護サービス基盤の整備、地域包括ケアシステムを支える人材の確保や介護現場の生産性向上、災害や感染症対策など、多くの課題への対応が必要となっています。

こうした状況を踏まえ、香川県では、人生の豊かさと幸せを実感しながら、安心して暮らすことができる地域社会を実現する「人生100年時代のフロンティア県」を目指す県の総合計画のもと、高齢者の保健福祉分野に関する県の方針や施策を明らかにする総合的・基本的な計画として、この度、令和6(2024)年度から3年間を期間とする「第9期香川県高齢者保健福祉計画」を策定しました。

第9期計画においては、第8期計画に引き続き、高齢者が、介護を必要とする状態になったとしても、可能な限り住み慣れた地域で、健康でいきいきと働き、安心して暮らすことができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援サービスが包括的に確保される「地域包括ケアシステム」をさらに深化・推進するため、健康づくりと生きがいづくり、介護サービス等の充実、地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び介護現場の生産性向上など、各種施策を総合的に推進してまいります。

この計画に沿って、各市町をはじめ、保健・医療・介護・福祉等の関係者と連携して取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

結びに、この計画の策定に当たり、県議会、香川県社会福祉審議会高齢者保健福祉専門分科会をはじめ、多くの方々から貴重なご意見、ご提言をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

香川県知事 池田豊人

(7101323496)